

## 石ヶ谷子安地藏

石ヶ谷子安地藏は西丹生園にあり、子授け、安産祈願で知られている磨崖仏まがいぶつ（自然の岩に彫刻した仏像）です。名石寺なごうじの前から山道に入り、石段を登った先に地藏堂があります。石ヶ谷子安地藏は、空海の作という伝承があり、高さ九メートル、幅五メートルあまりの岩に彫刻された高さ八センチメートルの地藏です。県内ではこのような磨崖仏は少なく、貴重なものであることから町の文化財に指定されています。石ヶ谷子安地藏には、次のような言い伝えがあります。

空海が修行中にこの辺りを訪れ、一夜の宿を求めているところ、通り合わせた夫婦が自宅に空海を招き入れ、もてなしました。その夜、とても騒々しいので目を覚ますと、妻が産気づき難産で苦しんでいました。これを見た空海が読経し祈りをささげると、無事赤ちゃんが誕生しました。夫婦は大変喜び、空海に感謝しましたが、これは「子安地藏」のご加護であると伝え、割木に地藏様を彫刻して主人に手渡しました。主人は感激する一方で、万が一火

事になったことを想像し、不安になりました。それを察した空海は裏山に登り、自然の大岩に地藏様を彫り上げ、これで火事の心配はないので大事に守ってほしいと伝え、旅立ちました。その後、夫婦は仏門に入り、子安地藏を守り伝えました。

石ヶ谷子安地藏は、毎月の清掃や花立てが行われるなど地域の方々によって厚く信仰されています。しかし、近年お堂が老朽化し、子安地藏も風化が進んでいるため、現在地域の方々によって補修が検討されています。

七月二十四日(日)には夏の会式があり、十四時からおつとめ、十五時から餅投げが行われます。当日は子安地藏が開帳されますので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

